

内科

呼吸器内科

病棟 東病棟 16F/西病棟 16F

外来 外来診療棟C 2F 連絡先 022-717-7875(外来)

ホームページ <http://www.rm.med.tohoku.ac.jp>



科長
杉浦 久敏 教授

主な対象疾患

- 慢性閉塞性肺疾患(COPD) ●気管支喘息 ●睡眠時無呼吸症候群 ●肺癌 ●縦隔および胸膜腫瘍
- 呼吸器感染症(肺炎、抗酸菌症、真菌感染など) ●間質性肺炎 ●アレルギー性肺疾患 ●サルコイドーシス

診療内容

COPDや気管支喘息などの閉塞性肺疾患、腫瘍性疾患、間質性肺疾患、呼吸器感染症など様々な呼吸器疾患を対象としています。エビデンスに基づく治療や臨床試験を実施しながら、安全で適切な診療を提供しています。

●COPD

精密呼吸機能検査や呼気ガス検査、血液検査、画像検査を駆使し、適切な気管支拡張薬を用いて治療します。喘息合併例では吸入ステロイド薬を併用します。増悪時の治療も得意としております。呼吸リハビリや在宅酸素療法など包括的な診療を行っています。

●気管支喘息

症状に加え呼気ガス検査、呼吸機能検査、血液・画像検査を用いて診断し、吸入ステロイド薬や気管支拡張薬による治療を行います。重症例での生物学的製剤による治療も経験が豊富です。

●肺癌・縦隔腫瘍・胸膜腫瘍

内科治療が必要な進行肺癌は、遺伝子変異検査により分子標的薬の適応を評価し、化学療法や免疫チェックポイント阻害剤、放射線療法、緩和ケアを組み合わせながら集学的に治療しています。

●間質性肺疾患

原因が特定できない特発性間質性肺炎、膠原病に伴う間質性肺炎、特殊な環境抗原吸入による過敏性肺炎などが対象です。画像検査や呼吸機能検査、気管支鏡検査、胸腔鏡下肺生検などによる正しい診断と適切な治療を心がけています。

●呼吸器感染症

細菌をはじめ様々な病原菌による呼吸器感染症を対象としています。喀痰、気管支鏡検査、血清マーカーなどにより原因菌の特定を行い、適切な抗菌薬治療を行っています。

●睡眠時無呼吸症候群

症状や終夜睡眠ポリグラフ検査などを組み合わせて診断し、中等症以上では主に経鼻的持続陽圧呼吸療法による治療を行っています。

●サルコイドーシス

検診や眼科のぶどう膜炎などをきっかけとして発見され、気管支鏡検査などいくつかの検査によって診断します。多臓器病変を有する症例では、各専門科と協力し、最適な治療法を提供します。

●稀少疾患

一般病院では対応が困難な稀少疾患に対して、血液検査、画像検査および気管支鏡検査などを組み合わせて診断・治療を行います。肺胞蛋白症や肺リンパ脈管筋腫症などでは、それぞれGM-CSF吸入療法やシロリムス療法の日本における開発と普及に寄与するなど、最先端の治療法の開発にも携わっています。

診療体制

16階の東西病棟に設置されている呼吸器センターでは、呼吸器外科、放射線科、緩和医療科、病理部と連携し、入院患者さんに迅速かつ最善の治療を提供しています。外来では【COPD喘息】【肺腫瘍】【びまん性肺疾患】【感染症】【睡眠時無呼吸症候群】の5つの専門外来を中心に診療を受け付けています。各専門外来では再診の利便性向上のため診療可能日を拡充して診療に当たっています。皆様に分かりやすくまた満足していただける診療を心がけています。

得意分野

呼吸器における上記主要疾患の診療に加え、稀少疾患に対しても、全国有数の治療実績を有しています。地域の医療機関と連携し、東北地方最大の呼吸器拠点病院として責任をもって診療に取り組んでいます。



気管支鏡検査



呼気NO濃度測定検査



スタッフ集合写真

ご紹介いただく際の留意事項

■初回は新患担当医が診察し必要な検査等を実施・予約した後、2回目以降に各専門外来にて診察させていただきます。急を要する場合など特別な対応が必要な場合には事前にご相談いただければ幸いです。